

令和 2 年度きれいな奈良県づくり功労賞 受賞者一覧

◆川のきれい化部門…1団体

菩提川を汚さない会 代表 中島 康晴

受賞理由

菩提川の清掃や土手の草刈り、菩提川沿いの花壇や土手への植栽を行っている。
また、オリジナルの幟や立て看板による啓発活動も行い、河川の美化に長年にわたり貢献されている。



清掃活動（菩提川）

◆景観づくり部門…3団体

いこま里山クラブ 代表 赤地 喜久子

受賞理由

「生駒の森を元気に！」をスローガンに、様々な里山保全活動を行っている。生駒山麓公園や矢田丘陵遊歩道を中心に、荒廃した里山や竹林の整備、遊歩道の維持を行っている。
子どもや地域の人を対象に自然に親しむイベントも開催し、地域の環境保全意識の向上にも長年にわたり貢献されている。



植林地の整備（生駒山麓公園）

奈良トヨタグループ 奈良トヨタ自動車株式会社 トヨタカローラ奈良株式会社

代表取締役 菊池 攻

受賞理由

日々の店舗周辺の清掃に加え、「まほろばクリーンキャンペーン」として店舗を拠点とした広範囲の地域の清掃・美化活動を毎年県内営業所の全社員で実施しており、県内各地で地域の美化に長年にわたり貢献されている。



クリーンキャンペーン

萩乃里自治会 会長 高見 喬宏

受賞理由

宇陀市榛原萩乃里住宅地の市道 600m沿いにプランターを設置し、植栽を行っている。落ち葉から自家製腐葉土をつくり、回収したプランターの土の使える部分と混合し次の花苗の土として再利用している。
住宅地の中にある2箇所の公園のごみ回収や草刈り、大型水路の清掃等、様々な活動を通じて長年にわたり地域の景観維持に貢献されている。



植栽作業の様子

◆循環型の生活スタイル部門…1団体

明日の的野を創ろう会 代表 中西 巖

受賞理由

山添村的野地区において、村に元々ある豊かな自然の景観を活かすことを目的に、水車を製作・設置している。
平成 29 年に自転車のホイールを活用した小型水車を製作し、防犯灯の電源として活用している。平成 30 年には木製水車を製作し、夜間ライトアップを行っている。再生可能エネルギーの普及のみならず、水車周辺地や水路を整備し、村の景観の向上にも貢献されている。



製作した木製水車